

山科区の概要及び交通に関する状況について

1 山科区の概要（別紙1参照）

山科区は、京都市の東部に位置し、面積は約2.9km²、人口は約13.4千人、世帯数は約6.3千世帯である。

人口は、昭和30～40年代に急激に増加し、昭和55年頃から横ばいの状況であるが、核家族化の進展や単身世帯の増加により、世帯数が増加している。

また、この20年間で高齢化が急速に進んでおり、直近では東山区に次いで、全市で2番目に高い高齢化率となっている。



2 山科区の交通

(1) これまでの経過（別紙2参照）

- ・ 山科区のバス交通は、平成9年10月の地下鉄東西線の開業前は市バスと京阪バスとが運行していたが、同地域のバスの利用者が大幅に減少することが見込まれたため、開業に当たり、同地域の先行事業者である京阪バス株式会社に運行を一元化した。
- ・ その後も、地域の皆様からの要望等を踏まえ、平成14年には、地域各所と区役所、地下鉄駅とを結ぶ山科循環線「くるり200（現在の「くるり山科）」」や、平成22年には稲荷山トンネルの開通を機とした「山科急行線（現在の「京都醍醐寺ライン）」」が新設される等、利便性の向上が図られてきた。
- ・ さらに、平成25年には、山科駅と鏡山地域を循環する「鏡山循環バス」の実証運行が開始されたほか、平成29年には鏡山循環バス及びくるり山科の増便に係る実証運行の開始、平成31年には小金塚地域において地域内循環バスの実証運行が開始されている。
- ・ また、これらのバスが運行されている地域においては、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの自発的な転換を促す「モビリティ・マネジメント」の取組が継続して行われている。
- ・ 地下鉄東西線の開業により、山科地域から市内中心部への利便性が向上した一方、地下鉄駅等へのアクセスが不便な地域における交通課題が、高齢化の進捗も相まって顕在化している。

(2) 現状（別紙3参照）

ア バス

平成9年の地下鉄東西線開業後は、京阪バスが地域の足を担っている。主に山科駅を起終点とする経路、山科地域と四条界わい・京都駅とを結ぶ経路が運行されている（別紙4-1，別紙4-2参照）。

- * 走行キロ：約8,554.0km／日（平日ダイヤ），車両数：77両
- * 京都市域における輸送実績の推移（別紙5参照）

イ 鉄道

山科区には、JR線、京阪京津線、地下鉄東西線の3路線が運行されており、京都の東の玄関口として交通の要衝となっている。山科駅（3社）の乗降客数は、京都市内では京都駅（JR，近鉄，地下鉄），烏丸駅（阪急）・四条駅（地下鉄）に次いで3番目に多い。

また、山科区内の鉄道9駅における乗客数は、コロナ禍までは増加傾向がみられた（別紙6参照）。（令和元年度の乗客数：約93千人／日）

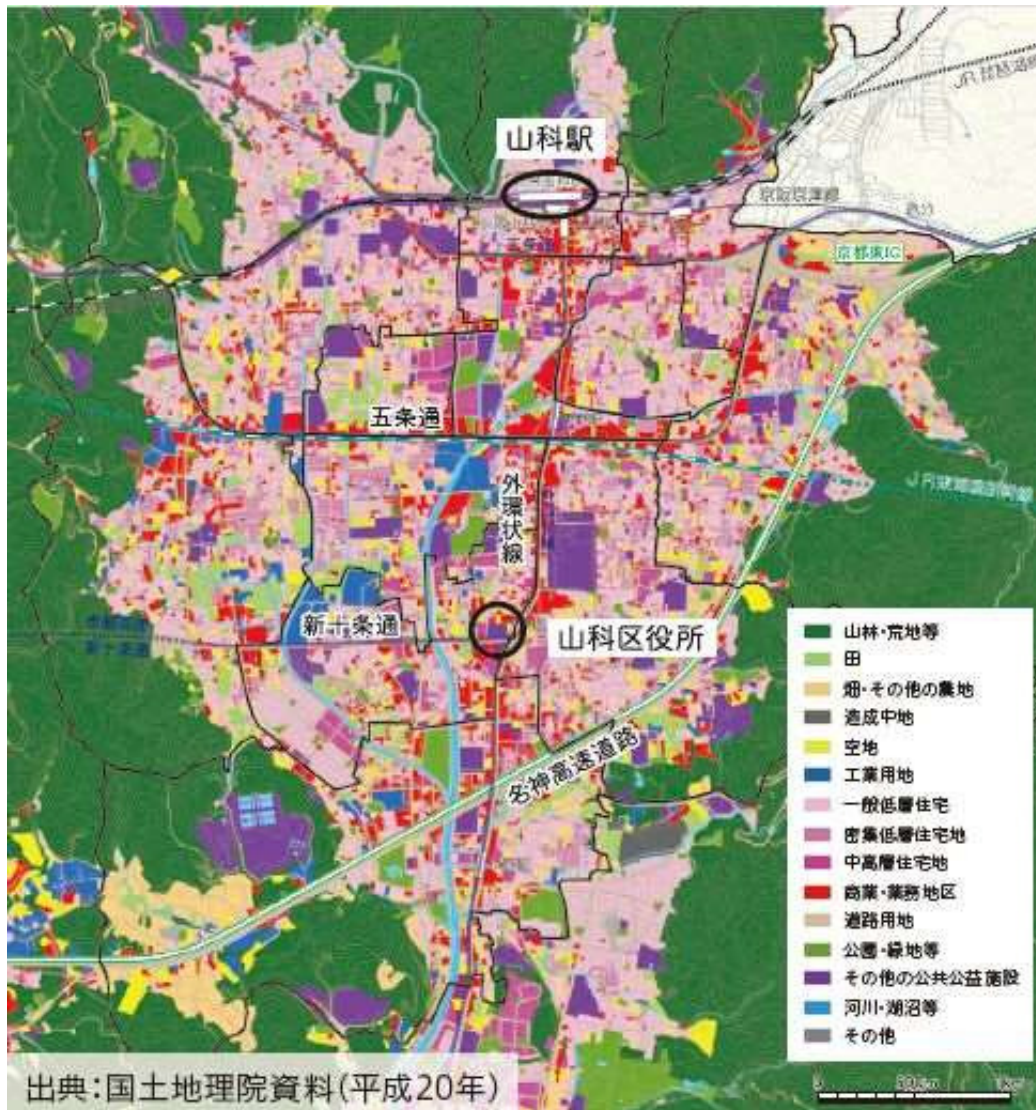
ウ タクシー

現在、山科区に本社・事業所のあるタクシー会社は8事業所であり、757両が在籍している。（京都府タクシー協会加盟事業者分）

山科区のまち・人口について（図、グラフ、表は「第3期山科区基本計画」から）

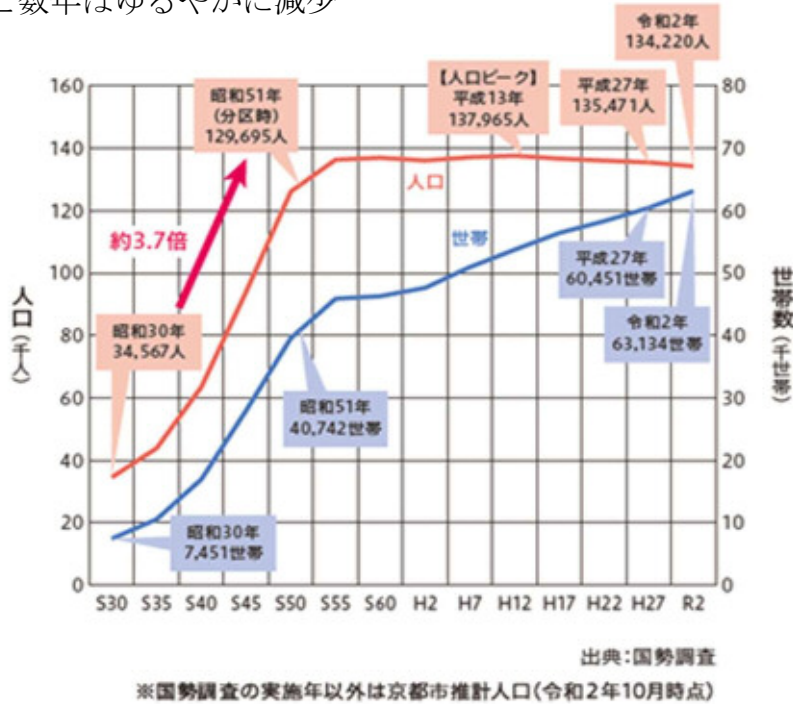
1 土地利用の状況

- 山地に囲まれた盆地内部は昭和期の人口増加の影響により、大半が住宅地
- 商業系は、山科駅周辺から幹線道路（五条通，外環状線）沿いに集中
- 農地や駐車場，空き地などが，新十条通北部，名神高速道路南部に点在



2 人口の変化

- 昭和 30～40 年代に急激に人口が増加
その後、13 万人前後で横ばいに推移
ここ数年はゆるやかに減少



3 高齢化と生産年齢人口の現状

山科区の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、この20年間で急速に高齢化が進んでいる（直近では、京都市の区で2番目に高い）。

生産年齢人口比率（総人口に占める15歳以上～65歳未満の人口の割合）は、この20年間で減少が進んでいる（直近では、京都市の区で最も低い）。

高齢化率

平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
11.9%	15.4%	18.9%	23.4%	29.1%	31.4%

出典：令和2年分は、京都市による独自推計値（10月時点）。それ以外は、国勢調査

生産年齢人口比率

平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
73.5%	71.3%	68.3%	64.2%	59.3%	58.1%

出典：令和2年分は、京都市による独自推計値（10月時点）。それ以外は、国勢調査

4 将来の見通し

(1) 高齢化の進行と生産年齢人口の減少

約 25 年後の令和 27 (2045) 年には、平成 27 (2015) 年に比べ、

①人口は、約 17%減少 (全市平均：約 12%減少)

②生産年齢人口は、約 32%減少 (全市平均：約 23%減少)

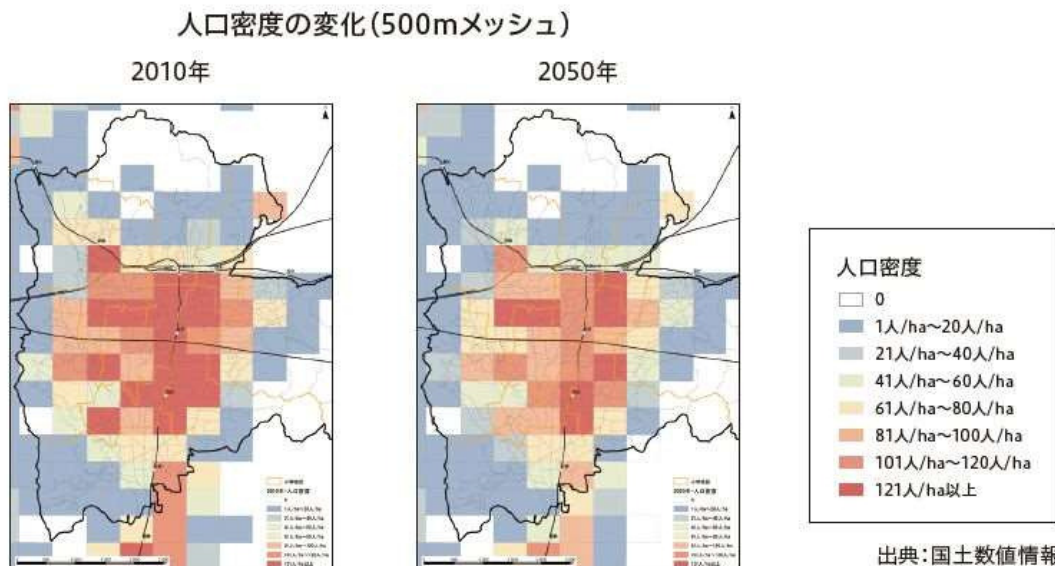
③高齢化率は、43. 0% (全市平均：36. 4%) に上昇



出典：日本の地域別将来推計人口 平成30年推計

(2) 人口密度の低下

人口減少に伴い、市街地の人口密度も全体的に低下。特に現在、人口密度の高い地下鉄沿線、駅周辺部での低下が顕著になると予測される。

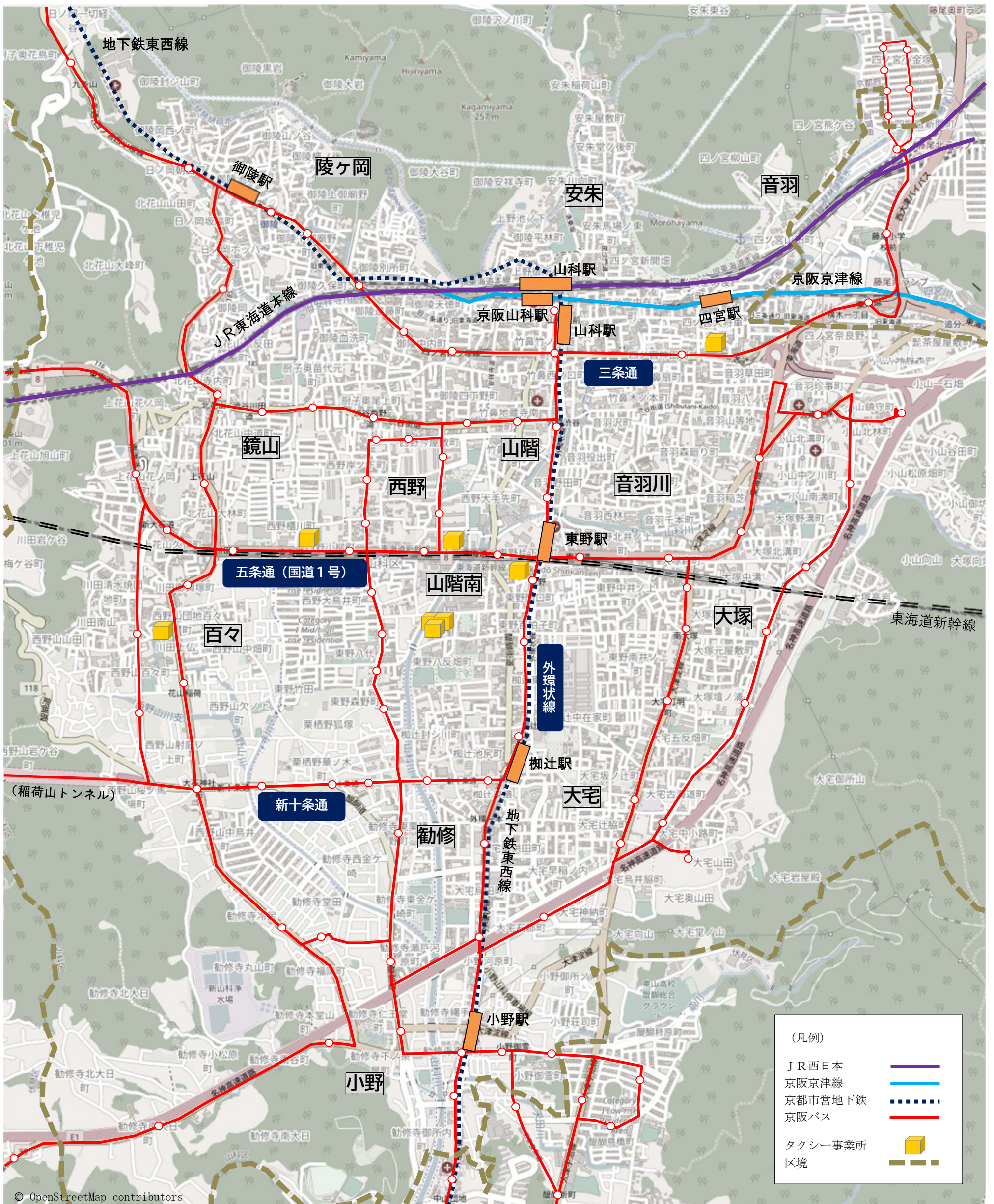


出典：国土数値情報

山科地域におけるバス（路線・ダイヤ）の主な経過

- 平成 9年10月 地下鉄東西線の開業に伴うバス運行の一元化
⇒ 地下鉄の開業により同地域のバスの利用者が大幅に減少することが見込まれたため、同地域の先行事業者である京阪バス株式会社に一元化することとしたもの
- 平成10年 3月 京阪バスによる運行経路の見直し
⇒ 86号経路（醍醐バスターミナル～旧奈良街道～蚊ヶ瀬～五条通～四条河原町）の新設等
- 平成10年 7月 京阪バスによる運行経路の見直し
⇒ 新十条通～新大石街道～四条河原町の新設等
バス停留所の新設（栗栖野華ノ木町，清水焼団地，射庭ノ上町）
- 平成14年 3月 「くるり200」（山科循環線）の運行開始
⇒ 運行経路（今屋敷～舞台町～山科総合庁舎～東野～今屋敷）
- 平成18年 4月 「くるり200」の山科駅への乗入れ
- 平成22年11月 「山科急行線（山急）」の運行開始
⇒ 経路（山科地域～稻荷山トンネル～京都駅八条口）
- 平成25年 3月 鏡山循環バスの実証運行開始
⇒ 経路（山科駅～今屋敷～中道町～御陵～山科駅）
- 平成27年 3月 鏡山循環バスの本格運行化
- 平成27年 9月 京阪バスのダイヤ改定
⇒ バス停留所の新設（御陵駅）
- 平成29年10月 鏡山循環バス及びくるり山科の増便の実証運行開始
⇒ 鏡山循環バス（12時台に増便 2便→3便/日）
くるり山科（18時台に増便 12便→13便/日）
- 平成31年 3月 小金塚地域循環バスの実証運行開始
- 平成31年 4月 西本願寺清水寺ライン（308号経路）の運行開始
⇒ 経路（京都駅八条口～大石神社～川田～五条坂～西本願寺）
- 令和 2年10月 鏡山循環バス及びくるり山科の増便分の本格運行化
- 令和 2年12月 京阪バスのダイヤ改定
⇒ 西本願寺清水寺ラインの廃止
四条河原町方面行きの減便，京都駅八条口行きの新設等

山科区の公共交通の状況 (バス・鉄道・タクシー)



© OpenStreetMap contributors

この地図は、以下の著作物を改変して利用しています。
OpenStreetMap (<https://www.openstreetmap.org/>)
クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
表示-継承 2.0 一般 (CC BY-SA 2.0)
<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.0/deed.ja>

山科営業所 洛南営業所 管内路線図

(別紙4-1)

山科区・伏見区(醍醐)版

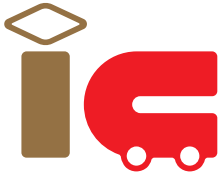
Keihan Bus Route Map

2021年3月13日現在
<https://www.keihanbus.jp>

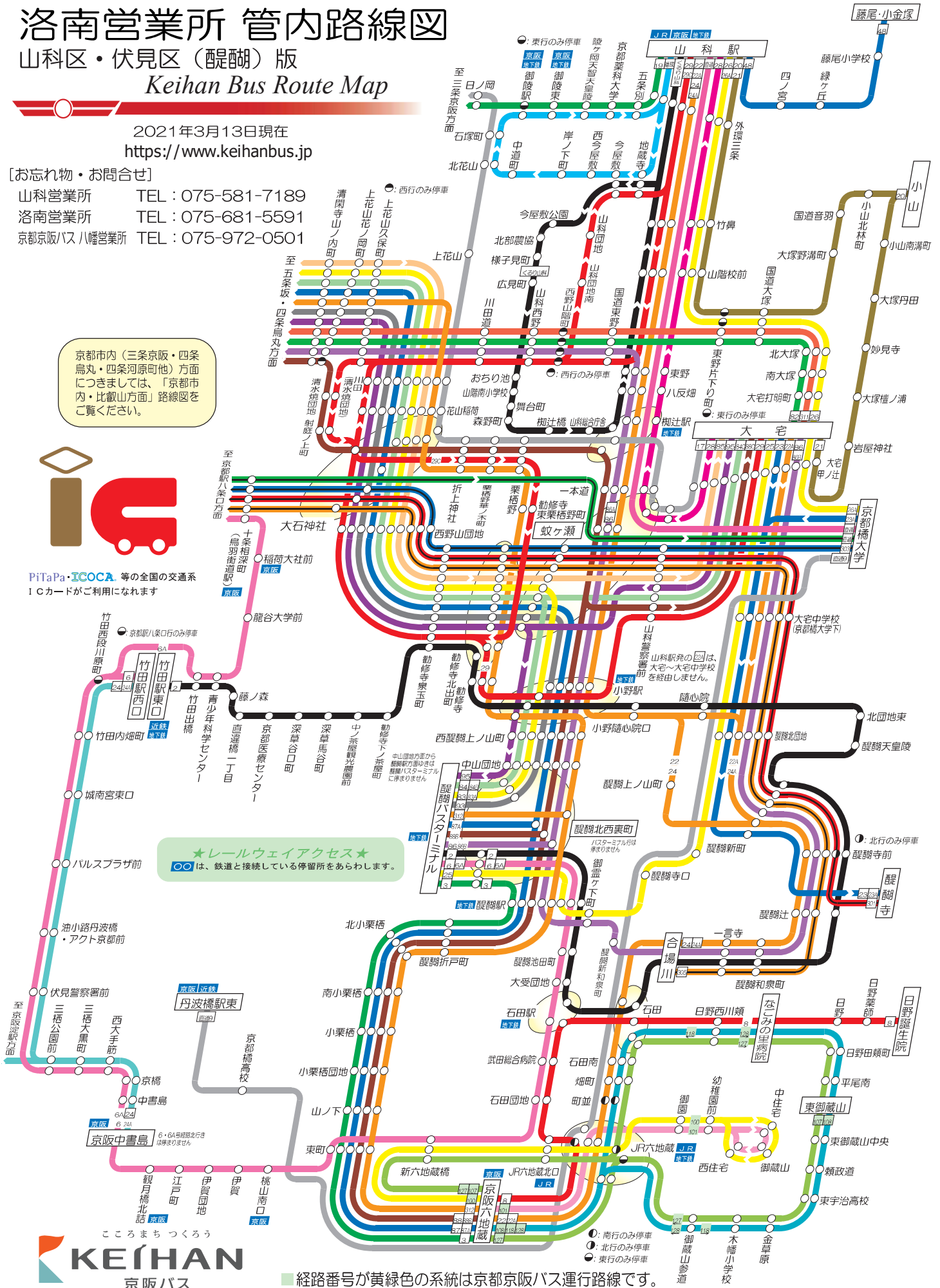
[お忘れ物・お問合せ]

山科営業所 TEL: 075-581-7189
 洛南営業所 TEL: 075-681-5591
 京都京阪バス八幡営業所 TEL: 075-972-0501

京都市内(三条京阪・四条烏丸・四條河原町他)方面につきましては、「京都市内・比叡山方面」路線図をご覧ください。



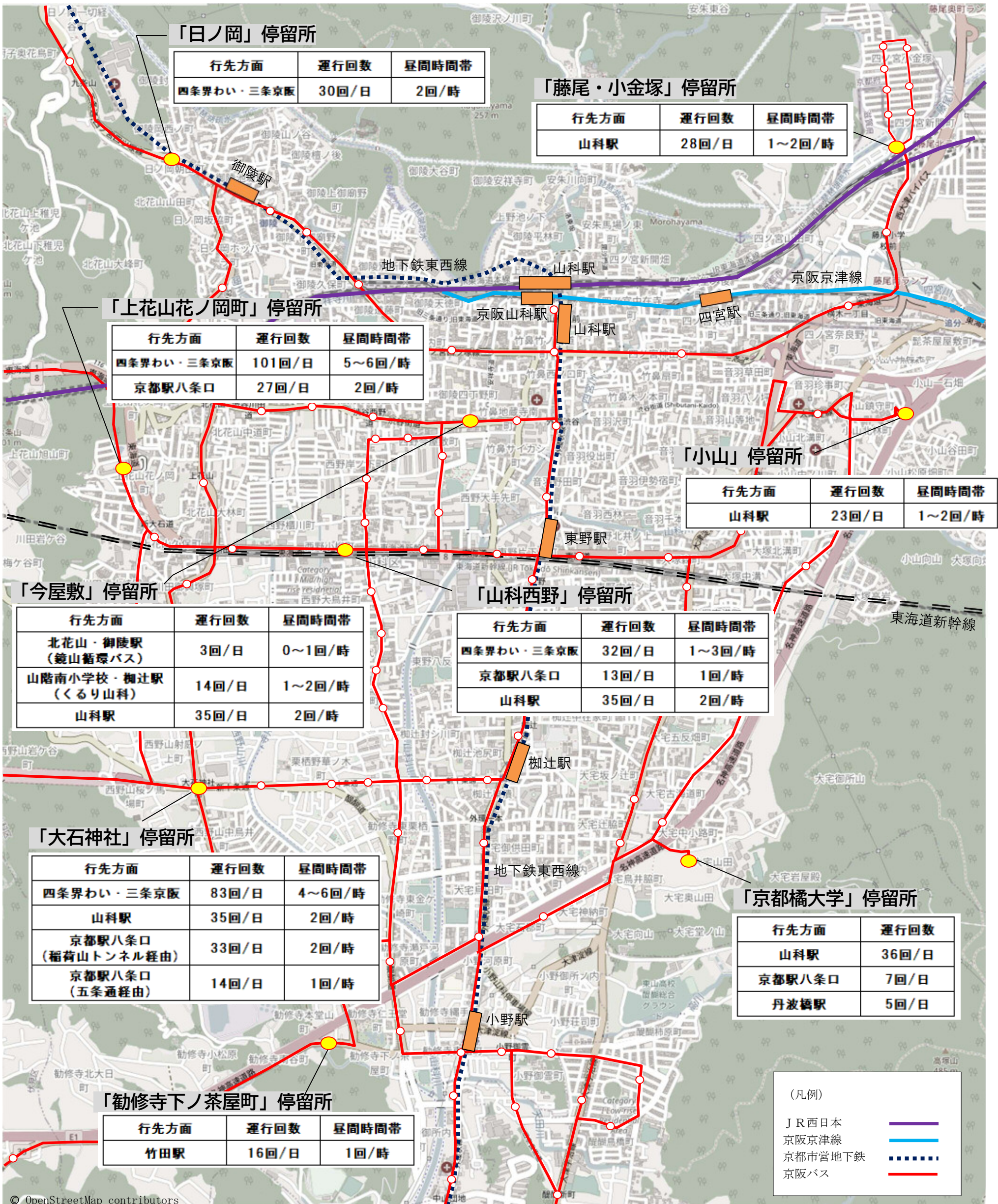
PiTaPa・ICOCA等の全国の交通系ICカードがご利用になります



★レールウェイアクセス★
 〇〇は、鉄道と接続している停留所をあらわします。

■経路番号が黄緑色の系統は京都京阪バス運行路線です。

主なバス停留所における運行回数 (平日ダイヤ)



© OpenStreetMap contributors

この地図は、以下の著作物を改変して利用しています。
 OpenStreetMap (<https://www.openstreetmap.org/>)
 クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
 表示-継承 2.0 一般 (CC BY-SA 2.0)
<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.0/deed.ja>

京都市域利用実績表

年度	輸送実績 走行キロ (km)	輸送実績 旅客数 (人)
2016	3,208,498	9,633,934
2017	3,127,015	9,739,478
2018	3,125,051	9,962,899
2019	3,436,557	10,265,795
2020	3,335,492	8,929,496

※数値は輸送実績報告書より

京阪バス株式会社提供資料

山科区内鉄道駅の乗客数の推移

山科区内の鉄道9駅における乗客数は増加傾向であり、バスだけでなく鉄道が重要な交通手段となっている。

鉄道9駅：JR西日本の山科駅
京阪電車の御陵駅、京阪山科駅、四宮駅
地下鉄の御陵駅、山科駅、東野駅、栂辻駅、小野駅



「京都市統計書」の各駅の乗客数から1日当たりを算出